令和４年２月９日
新潟県立自然科学館

令和３年度　全国科学館連携協議会 北信越ブロック会議 実施報告

表記の件につき、下記の通りご報告いたします。

記

Ⅰ．日時

令和４年２月３日（木）　13:00～14:10

Ⅱ．開催方法

オンライン会議（zoom 使用）

Ⅲ．参加館

北信越ブロック加盟館　10 館　20 名、連携協事務局２名　　計 22 名

Ⅳ．次第

■開会挨拶
■参加館　確認・挨拶
■議事／事前アンケートを基にした意見交換
　1）事前アンケートを基にした意見交換
　　① 感染症の捉え方
　　② コロナ禍で受けた影響と、その対策（直近・今後含めて）
　　③ 『with コロナ』の中での取り組み
　　④ その他
　2）次期幹事館について
　3）その他　質疑、情報共有事項
■連携協事務局からのお知らせ
■閉会挨拶

Ⅴ．議事内容

今回の会議は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンラインでの開催となったため、事前に議事内容に関するアンケートを実施した。アンケート内容について、出席した加盟館内で情報共有と質疑を行った。

※事前アンケート結果は添付を参照のこと。

1）事前アンケートを基にした意見交換

①感染症の捉え方

◇福井県児童科学館

1 月に対策のために閉鎖していたエリアを開放したところで再度県独自の警報が発令された。現在も警報は発令されているが、感染対策を行っていれば警報下でも運営できるのではないかと判断し、閉鎖せず運営しており、コロナ禍初期とは異なっている状況。来館者も以前よりは警戒せずに来館している。

◇上越科学館

アンケート時では新潟県は減少傾向だったが現時点では感染者数が多くなってしまっている。そのため入館者数が少なく、土日でも 100 人を下回る。その分感染リスクは少ないと考えている。感染対策として、ワークショップでは参加人数を通常の半数にし、参加者の座席も距離を取って行っている。また、消毒は次亜塩素酸ナトリウム水溶液を用いて 1 日数回、定期的に行うようにしている。

≪低年齢の子どもの来館と、その対策について≫

◇新潟県立自然科学館

オミクロン株が流行し新潟県でも感染者数が増えたため、マスク着用をお願いする年齢を「小学生以上」から「3 歳以上」に引き下げている。

◇上越科学館

まず、小学生があまり来館しなくなった。未就学児については、保護者の意識が高まりマスクをする子供が見られるようになってきている。

◇上田創造館

長野県はまん延防止になったため、厳しい状況であるが、近日中に来館している未就学児の様子を見ていると、マスクをしっかり着用し予防に努めている。

◇福井県児童科学館

4 歳以上にマスク着用をお願いしているが、それ以下の子供でもマスクを着用している子が多く見られる。これは家族の関心が高いと思われる。館内にあるプレイエリア（体を活発に動かせるエリア）でもマスク着用のまま活動している。学校での指導が徹底されているようで、この点では安心できている。

②コロナ禍での影響と対策
③『with コロナ』の中での取り組み

≪コロナ禍での対策について≫

Q）富山市科学博物館＞長野市少年科学センター

当館では来館者を分散させるために映像展示は投影回数を増やしている。長野市少年科学センターでは対策として投影休止を打ち出しているが、これは密を避けるための対策なのか伺いたい。

A）長野市少年科学センター

センター全体の入館者が減少ことで上映を観覧する方も減少した。投影作品のレンタル費を考慮し、費用対効果を考え休止をしている。

≪コロナ禍で増えたオンライン事業や SNS の活用について≫

◇上越科学館

一昨年から YouTube で実験動画をアップしていたが、多くて視聴数 1,200～1,300 回。コロナ禍が長くなり、現在は科学館の役割として「科学館のコンテンツはリモートでの提供で良いのか？」という点を考えている。YouTube での配信も良いが、それを中心にしては本末転倒ではないかと考えている。

出前授業などの館外活動では事前に抗原検査で陰性を証明してから行っている。

キットを参加者へ送りオンラインイベントを実施する事例も聞くが、地方ではインターネット環境の普及率が異なるため実施は難しいと感じている。

◇新潟県立自然科学館

オンラインでは時間・場所に捉われてないメリットがあるため、「科学を体験する機会を増やす」という点では良いのではないかと考えている。

◇福井県児童科学館

来館し科学を体験していただくことが基本ではあるべきだが、休館すると館職員のモチベーションも低下してしまう。その対策として YouTube 配信やオンライン事業を実施している。夏休み期間の臨時休館では、Zoom を利用した双方向の実験教室を実施し、参加者の反応は良かった。

事例：偏光板を持ちいた万華鏡づくり（40 分間／12 月に実施）

実験と工作を合わせたイベント。家の中で偏光板が使われているものが多くあるため、偏光板をかざして見てもらったり、探してもらったりした。

家の中で気軽に体験でき、終了後も継続的に科学を体験できるテーマを探すことが難しかった。

参加者は県内だけでなく遠方からの参加者も見られ、感染症や天候に左右されず参加できることが良いという意見があった。また、子供が家の中で体験できることからリラックスして参加できたのが良かったという意見があった。

◇原子力の科学館あっとほうむ

事例：夏休みに関西電力とコラボしたオンラインイベントを実施。
放射線・ブラックライトを用いた内容や、分光器を用いた万華鏡づくりなど。
実験内容より、集客が課題点だった。

Q）原子力の科学館あっとほうむ

オンラインイベントでの参加者の集客方法について他館ではどのようにしているのか伺いたい。

A）福井県児童科学館

館の広報誌（3ヵ月に1度発行しているもの）があり、県内すべての幼稚園・保育園・小学校 1 人 1 人へ配布している。参加者アンケートからも広報誌が情報源となっていることがわかっている。

A）新潟県立自然科学館

当館ではオンラインイベントは実施していないが、紙媒体での広報が最も集客できている。

④その他

≪広報の工夫について≫

Q）サイエンスヒルズこまつひとともものづくり科学館

当館では3か月ごとにイベント情報チラシを作成しており、6万部を小学校・中学校へ配布している。ただ、本当に 1 人 1 人に届いているのか疑問に思っている点もあり、他館では追跡調査などをしているか伺いたい。

A）新潟県立自然科学館

小学校等へ配布しており、先生方からは「渡している」と聞いているため、子供たち1人1人に渡っていると考えている。

A）上越科学館

以前配布した学校から「配布には手間が掛かる」という意見をもらったことがある。紙媒体では先生方の負担も掛かることから今後検討が必要だと考えている。

A）長野市少年科学センター

過去長野市内の小学校全体へ配布していたが、先生方から負担の大きさについて意見があったため、センター側で事前に 1 クラスごとに付箋を付けて配布していた。それによる効果を調査したところ、100 枚配布に対して来館は1人程度だったため、先生方の負担・センター側の負担・参加率などを考慮し、学校への配布は中止した。配布中止したことでの影響は、コンスタントな参加者はなくなってしまったが、予約なしのイベントで対応した。

≪年報以外の、館の活動発信について≫

◇上越科学館

3 日に 1 回 Facebook で発信しているが、Facebook は若年層の閲覧が少ないと聞くため、媒体を増やすことを検討している。

◇原子力の科学館あっとほうむ

週末の工作・イベント情報を Facebook、Instagram、館 HP で発信している。Instagram 等のフォロワー増ため、館入口にガチャガチャを設置し、アカウントフォロー・シェアをすると館ノベルティが当たる取り組みを始めた。ガチャガチャは子供の興味を引くため、それによってフォロワー数を増やす工夫をしている。紙媒体に比べ数は少ないが、効果は感じている。

≪SNS の更新頻度について≫

◇新潟県立自然科学館

10 日に 1 回程度更新。

◇原子力の科学館あっとほうむ

Instagram、Facebook は団体来館があった際に、その状況をアップしている。そのため団体来館が多い時期は更新頻度が高いが、1 月に入ってからは週 1 回程度。

◇富山市科学博物館

更新内容は企画展準備や来館者からの質問など内容は探せるが、他の業務があると頻繁な更新は難しい。

◇福井県児童科学館

SNS は広報担当が行っている。企画展前後に更新していることが多い。

◇大町エネルギー博物館

Facebook、Instagram、YouTube を持っているが主に Instagram で発信している。館の周辺環境を活かし日常の自然や、展示物を紹介している。スタッフ数が少ないため、主に 1 人で担当している。

≪質問対応について≫

Q）新潟県立自然科学館

スタッフ数が潤沢ではなく、各専門分野に対応したスタッフがいるわけでないため、来館者からの質問対応に苦労している面がある。質問対応について工夫点があれば伺いたい。

A）上越科学館

異分野を学ぶしかないのでは。ほか、各分野に詳しい先生方に頼っている。

2）次期幹事館について

・次年度は長野県担当。

・ブロック会議時点で担当館が決定していないため、長野県の加盟館同士で相談して頂き、決まり次第、現幹事館（新潟県立自然科学館）へ連絡をしていただく。

3）その他　質疑、情報共有事項

・長野市少年科学センターについて

リニューアルのため、来月令和 4 年 3 月 31 日で閉館。そのため、一度全国科学館連携協議会から退会する。

4）連携協事務局からのお知らせ

・1 月 28 日国内科学館研修で実施した青森県立三沢航空科学館のオンラインツアーを YouTube で限定公開予定。決まり次第加盟館へメールで連絡する。

・マブチモーター株式会社からの製品提供を今年も実施予定。

以上